



♪ 笹の葉 さ～ら さ～ら ♪ (比井保育所 七夕まつり)

議会だより



小さな冊子にあふれるニュース

第126号 平成23年7月25日

魚選別機導入

補正予算・条例 2p

防災関連等

一般質問 4p

中学生訪問

8p



【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626

【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai@town.wakayama-hidaka.lg.jp

6月定例会

第2回定例会は6月14日から22日まで、9日間の会期で開催した。

今定例会には報告4件、諮問1件、議案7件が提案され、慎重審議の結果、それぞれ原案のとおり可決した。また、請願2件を採択、意見書2件を可決した。

一般会計補正予算

既定の予算額に1703万8千円を追加し、総額36億8675万9千円とする。

—主な内容—

高家区会祭り用具整備に対するコミュニティ助成事業費補助金250万円、野菜花き産地活性化事業補助金130万7千円、比井崎漁協魚選別機の整備等に対する産地水産業強化支援事業費補助金2979万2千円等の増額。当初予算で、3歳未満の子ども手当支給額の上積みを上としていたが、改正法案が取り下げられたことなどによって1470万円を減額。



アジ、サバの選別に新たな機械を

問 産地水産業強化支援事業費補助金の受益者負担割合は。

産業建設課長 総事業費

3972万3千円。

国2分の1、1986万1千円。

町4分の1、993万1千円。

事業主体の比井崎漁協4分の1、993万1千円である。

問 設置時期は。

産業建設課長 阿尾の巻き網漁が1月から2月中旬まで休業するので、その時期に合わせて実施したい。

問 野菜花き産地活性化事業補助金の説明を。

産業建設課長 ビニールハウスでトマト、きゅうり等作付けをしているが、夏場、温度が高くなり、受粉できなくなるケースがある。

ハウスの天井部分へ遮熱ネットをかけ、温度の上昇を防ぐもの。

問 補助率は。

産業建設課長 ハウス農家で団体を組んで申請をしていたとき、県3分の1、町3分の1、団体3

分の1の割合での補助事業となる。

問 コミュニティ助成事業 高家の祭り用具助成について具体的な説明を。

総務政策課長 大太鼓1個、獅子舞の幕1揃え、乗り子の衣装4組となっている。

日高町暴力団排除条例の制定

暴力団排除を推進し、町民の安全で安心かつ平穏な生活を確保し、社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的として定めるもの。



ビニールハウスに遮熱ネットを

日高町小規模がけ崩れ対策事業 分担金徴収条例

「特殊急傾斜地崩壊対策事業」「急傾斜地崩壊対策緊急整備事業」が『小規模がけ崩れ対策事業』に統合されたため、旧事業の分担金条例を廃止し、新たに分担金徴収条例を制定するもの。

問 名称が変わるだけで、採択内容については変わらないのか。
答 事業が一つになるが、予算枠の減ということにならないか。
産業建設課長 内容は変わっていないが、ある程度縮小は考えられる。

日高町国民健康保険税条例の一部改正を専決処分

中低所得者層の国民健康保険税の負担軽減を図るため、賦課限度額を引き上げる改正。

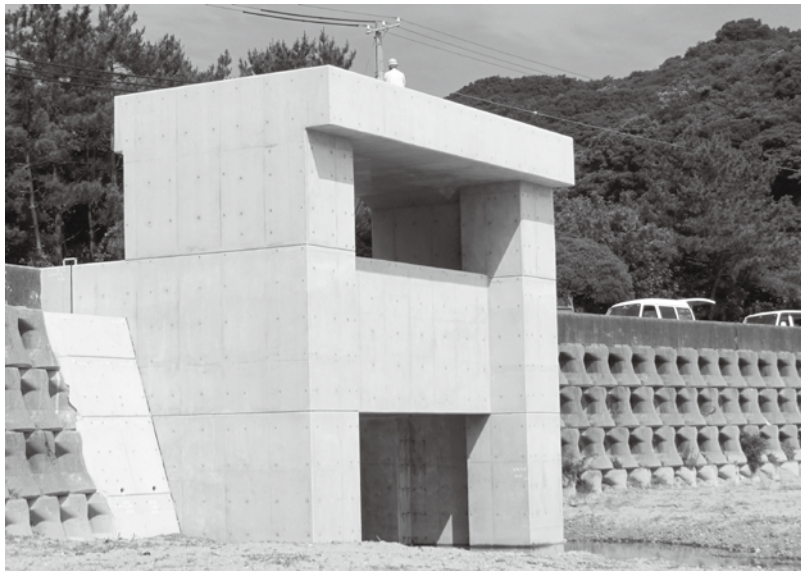
	22年度		23年度
医療分	50万円	➔	51万円
後期高齢者	13万円		14万円
介護保険分	10万円		12万円

問 限度額引き上げの対象世帯数は。
答 **税務課長** 医療分で12世帯。後期高齢者支援分で16世帯、介護保険分で8世帯である。

小浦川水門 工事請負契約

小浦漁港海岸小浦水門工事について、7社による指名競争入札の結果、左記の業者が落札した。

株式会社	豊工業所
和歌山市雑賀崎	2021番地の9
契約額	5407万5千円
落札率	71.14%



小浦川水門

問 上限、下限の金額は。
答 **産業建設課長** 消費税抜きで、上限額7239万1千円、調査基準価格(下限額)5743万2千円。

問 下限額を下回ったの落札、契約についての考え方は。
答 **産業建設課長** 3社が下限額を下回った。

問 審査会で審査した上で、豊工業所と同額であったもつ1社により抽選の結果、決定した。
答 審査会で審査した上で、豊工業所と同額であったもつ1社により抽選の結果、決定した。

問 豊工業所の実績は。
答 **産業建設課長** 元々、国交省関係の入札に参加している橋梁を主としたメーカーである。

最近水門にも力を入れており、実績は十分である。

規定の予算額に3億4192万3千円を追加し、総額39億7980万7千円とする。

―主な内容―

地方交付税の最終決定により、3億1803万1千円を追加。財政調整基金へ3億4121万2千円の積み立てなど。

問 地方交付税決定の時期は。
答 **総務政策課長** 普通交付税は平成22年12月7日、特別交付税は平成23年3月22日である。

問 12月7日に決定されているものを専決処分できるものか。
答 **町長** ご指摘の件もわかるので、今後、十分検討していきたい。

22年度一般会計 補正予算の専決処分

未来をきずく

Q & A いっぽん質問

災害に強い町作りを

栄 茂美 議員

町長 減災事業の推進に取り組み

問 今年3月11日、日高

町に大津波警報・避難指示が発令されたにも関わらず、緊迫感ある避難行動が町内に起こらなかったが、災害対策本部長としてどう感じたか。

町長 今回の町内避難指示対象者は、1,637人に対し避難した人は60人で、逃げるという意識が住民に浸透していなかったと思われる。

問 避難施設自体が沿岸部にあるため安全だといえないので、内陸部の町施設・山間部の施設を開放すべきでは。

町長 ケースバイケースで今後対応して参りたい。

問 一説では、地震後、津波到達まで29分ある。迅速な対応で十分避難できると思われるが、町

長の考えは。

町長 地域の自主防災組織が、いろいろな活動を行なうことで避難率を上げたい。

共助の重要性を感じる。

問 町内21地区中、自主

町長 未設置の地区には、防災組織があるのは14地区、早急に全地区に自主防災組織を立ち上げ、町の防災機能を強固にしていくべきであると考えますが、どう取り組むか。

防災組織があるのは14地区長会等を通し設置の働きかけをしている。全地区設置に向け、引き続き取り組んで参りたい。



避難場所に別荘地の高台が考えられるが、関係者と打ち合わせをして避難の啓発を進めていく。

問 沿岸部に限られた年一回の県下一斉津波避難訓練だけでは不十分である、町内挙げての避難訓練の実施を。

町長 今後の検討課題として取り組む。

問 防災に対するの専門知識・技能を身に付けるため、役場職員、町民に防災士資格の取得推進の考えはあるのか。

町長 十分検討していきたい。

問 町内の海拔表示板が少ない、もっと設置すべきでは。

町長 関係地区の方々と協議し、必要であればさらに設置していく。

問 海水浴客の方々に対する避難誘導方法も具体的に進めるべきである。

町長 一つ例を挙げると、



積極的な海拔表示板設置を

問 子ども達の防災教育を通し地元住民を巻き込んでの意識高揚を。

町長 日頃の防災教育・防災訓練を重ねる必要があると考えられる。



清水 正巳 議員

防災の見直しはいつになるのか 町長 3年後になる

問 3月11日、大地震による津波が東北地方を襲い、死者1万5000人、行方不明者8400人、施設の破壊等甚大な被害をもたらした。

さて、私たちの住む和歌山県も、東海地震、南海地震、東南海地震が予想され、マグニチュードは最大8.7となっており、東日本大震災と同程度の被害が出る可能性は十分にあるのかと考える。県からの防災計画の見直しはいつ出るのか。

町長 4月27日に国の中央防災会議が開催され、新たな被害想定が発表されるのは、平成24年夏から秋ごろになる見通しで、県はそれを元に県内全域の浸水予測図を約1年を掛けて平成25年に策定し、さらに市町村が約1年かけて平成26年にハザードマップを策定する予定となっている。

問 遅いと感じるが、それまで何も手を打たないのか。

町長 ソフト・ハード面で対応しなければならぬ部分は進めてまいりたい。

問 今回、町に避難指示が出たにもかかわらず、避難者が非常に少なかった、今回防災対策が見直されると、比井崎の沿岸

部は全域浸かる予想になると考える。

さらに防災意識を高める具体的な事を進めないといけないのではないかと、徹底して高台に避難するという啓発運動を進めて参りたい。

問 又、今回は緊急避難

のサイレンが調整中との事で鳴らなかった、消防車を走らせても良かったのではないかと。

町長 その点については抜かったと反省している。

問 海岸線のどの地区の放送設備も、津波が来れば使えなくなる位置にある、検討して頂きたい。

町長 十分想定される、高い場所に増設するなど検討したい。

問 7月31日の避難訓練は防災意識を高めるため、

日高町全域対象で実施すれば良いのではないかと。又、職員の防災意識も高めてもらいたい。

町長 担当課とも十分協議する。

問 震災時、住民基本台帳、戸籍台帳のデータを一を全て失った町があったが、日高町はバックアップデータを他のところに移す計画はないかと。

町長 検討中である。

問 東日本大震災では特定の学校で、たくさんの子供が犠牲になった。

意識して訓練していた学校は犠牲者を出していない。

日高町内の学校、保育所は、避難訓練を十分しているか。

町長 保育所は月に1回実施している

教育長 学校は学期に1回避難訓練をしている。

問 スクールバスと学校は、連絡のとれる体制になっているか。

教育長 体制になっている。

学校の避難訓練は十分か

避難指示はサイレンで



西岡 佳奈子議員

原発ゼロの日本へ、町長の考えは 町長 国レベルの論議を注視



福島原発ではレベル7の過酷事故が起きた
(東京電力ホームページより)

問 日高町民が「原発は
いらぬ」という選択を
して20年以上が経過した。
この間、県内で数少な
い人口増加の町として発
展してきた。
改めて原子力発電に対
する思いを問う。

町長 私の公約は、原発
に頼らない町政を築いて
いくことである。

問 国は日高町に対し、
原発推進地点の指定をは
ずしたが、関西電力は
「紀伊半島に原発を」と
いう考えを捨てていない。
今、この時期にもう一
度関西電力に中止の申し
入れを。

町長 原発の火種は消え
たと確信している。
申し入れは考えていな
い。

問 全国に54基
の原発がある。
しかし、今回の
事故で明らか
なように人類は未
だ核エネルギーを制御で
きない。
廃棄物を安全に処分す
る方法も確立されていな
い。

町長 「日高町に原発がなく
てよかった。でも、他の
町の原発は続けて下さ
い。」というわけにはい
かない。
今すぐは無理でも、期
限を切って原発から撤退

問 今回の福島
原発での大事故
を教訓とし、日
本政府が原発か
らの撤退を決断
し、原発をゼロ
にする期限を決
めたプログラム
を作るべきだと
考えるが、町長
の考えは。

町長 電力の安
定供給に向け、
国レベルの論議
を注視してい
たい。

水門 上下道の耐震性は

問 産湯、比井など沿岸
部で、津波対策として川
の水門の遠隔操作ができ
るようになって
いる。
水門の耐震性は。また、
停電時に遠隔操作が間違
いなくできるか。

町長 電力の安定供給が
何より重要。
国会で自然エネルギー
の促進も含め議論されて
いるところであり、動向
を注視していきたい。

問 自然エネルギーに取
り組むのは当然だが、原
発も続けていかなければ
ならないと考えるのか、
撤退をどう考えるのか。

町長 耐震性は
問題ない。
停電時、備え付けのパ
ツテリーでクラッチ板を
外す操作ができ、後は自
重で降りる設計になっ
ている。

問 今後の課題が非常に
大きい。
計画的に対応を。

町長 ライフラインの中で
も上下水道が非常に大事。
浄水場、配水池、管路
などの耐震性は、
浄水場の

町長 大事なことであり、
できることから取り組ん
でいきたい。

上下水道課長 浄水場の

温泉館検討 特別委員会

◎西岡 佳奈子

○山本 善啓

清水 正巳

一松 輝夫

金崎 昭仁

平成23年6月22日
に設置した。

◎委員長

○副委員長

人権擁護委員に

鴫上桂子氏

任期満了にともない、引き続き人権擁護委員として推薦したいと諮問があり、全員一致で適任と認めた。任期は3年。



意見書

独立行政法人国立病院機構 和歌山病院の充実を求める意見書

和歌山病院は、循環器・重症心身障害児（者）等の診療を担い、地域医療支援病院の認定を受け、地域の開業医・診療所と医療連携の強化に取り組むなど政策医療・地域医療に大きな役割を果たしている。

いつでも・どこでも・だれでも、安心して医療を受けることが出来る体制づくりは住民の願いである。和歌山病院の充実を図るため、以下の項目について要望する。

- 一、和歌山病院を縮小・廃止、民営化することなく、充実強化を図ること。
- 二、和歌山病院に必要な予算を確保すること。
- 三、和歌山病院に医師・看護師はじめ必要人員を確保すること。

以上、全員賛成の上で意見書を国に提出した。



過酷な労働条件で働くスタッフ
(写真提供 和歌山病院)

大幅増員と夜勤改善で安全・安心の 医療・介護を求める意見書

看護師等の大幅増員を実現し、安全で行き届いた医療・看護・介護の充実を図るための対策を講じられるよう、次の事項について国に要望する。

- 1、ILO看護職員条約にもとづき、看護師など夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とすること。
- 2、医療、社会保障予算の充実を図り、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと。
- 3、患者・利用者の負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること。

以上、全員賛成の上で意見書を国に提出した。



重要な役割を担う和歌山病院

中学生訪問

日高等学校1年生5名が、役場庁舎内を進路学習の一環として職場見学に来た。その後議場見学を行い、議長から議会の仕組み等の説明を受けた。意見交換の場では、「教室内にクーラーの設置をお願いしてほしい」。

理由としては「快適な環境の中で授業を受けたい」また「給食時にも教室内の温度が高いので、食欲がでない」等の意見が出ていた。



議員になった気分で町の将来を考える



議長に要望（なかなか鋭い!!）



議会中継の操作方法にトライ中



「ただいまより会議を開きます」

編集後記

猛暑の中、皆様いかがお過ごしですか。節電・節電のかけ声にあおられて暑さを我慢しすぎないように、また、水分補給は十分に行っていただき体調管理をいたしましょう。

議会だより編集委員も新メンバーになって2回目の発行であります。皆様へ愛される「議会だより」をめざし今後もしっかり組んで参りますのでご期待下さい。

それから、私の個人的なお願ひですが、写真担当になりましたので、撮影に遭遇した際にはご協力をよろしく願ひいたします。

善啓

